

令和6年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

## 議 事 録

### 第5回 理事会

日時：令和6年9月5日（木）

場所：協会事務所＋オンライン会議（Zoom）

1 開催日時: 令和6年9月5日(木) 14:00～16:42

2 開催場所: 協会事務所、オンライン会議 (Zoom) 併用

3 出席者: 理事13名、監事1名、幹事2名 計16名

出席:

(理事) 杉山 明伸、大塚智秋 (Zoom 14:50～)、竹内潤子、東(竹野) みはる、平野朋美、橋村健司 (14:21～)、千賀英昭 (Zoom)、門岡高太郎、倉橋(松本) 浩一 (Zoom 14:12～)、竹本耕造 (Zoom)、長岡杏奈 (Zoom)、高瀬紀子、森田(近内) 晴美 (Zoom～16:09)

(監事) 吉越千昭 (Zoom 14:12～16:07)

(幹事) 清水信貴 (Zoom)、吉田穂菜美 (Zoom)

欠席:

(理事) 飯田里美、山梨誠

(監事) 永井薫

4 定足数確認 (定足数8名)

理事 参加13名の出席で理事会は成立

5 役割分担

議長: 杉山明伸 書記: 吉田穂菜美 (幹事)

議事録署名人: 杉山明伸 吉越千昭

6 代表理事より: 杉山会長

7 報告事項、討議事項

1) 関係機関・関係団体主催会議の参加報告

①日本医療ソーシャルワーカー協会アンケートについて: 竹野事務局長

毎年基礎調査が行われており、アンケート調査について報告。今回の調査で日本協会に加入している埼玉の方が252名、その内県協会に加入している方が57名と判明した。

②医療基本法オンライン学習会(9月24日開催予定): 竹野事務局長

医療基本法の理解のための学習会を開催予定。申し込みは9月17日締め切り。

③全国災害担当者会議（11月20日開催予定）：竹野事務局長

石川県医療ソーシャルワーカー協会が災害支援活動について講演することになっている。申し込みは10月31日締め切り。

④子ども家庭ソーシャルワーカー認定研修講師について：平野理事

こども家庭庁は発足し、今年度初のこども家庭ソーシャルワーカーの認定試験が実施される。初年度は1000人の資格取得を目指しているが、現在認定研修機関が7団体（定員約600人程度）と少なく、ソーシャルワーカー連盟も今年度は研修機関の研修認定機関になることを見送った。このため、日本医療ソーシャルワーカーとして、研修に取り組みことになり、講義の担当者の依頼が平野理事にあった。

⑤埼玉県脳卒中・心臓病その他循環器病対策推進協議会：大塚副会長

第2期は9月で終了。心疾患のリハビリが埼玉県内で地域差があり、アンケートの実施を行った方が良いのではないかとの話があった。

⑥さいたま市成年後見利用促進に関わる地域連携ネットワーク協議会：大塚副会長

塚田幹事がオブザーバーとして参加し、医療機関の現状について報告した。通常、医療機関の実態を聴く機会が少ないため、参加者の関心が非常に高かった。後見人が決まるまで時間を要することや身元保証会社の台頭等の情報共有・意見交換を行った。身元保証人の役割も様々で決まりがなく混沌としている。

杉山会長：病院によっては、身元保証人会社との契約を条件に転院を受け入れると言っているワーカーが実際におり、危機感を持っている。

## 2) 各部局からの報告

(1)総務部：橋村総務部長（資料参照）

①会員状況

8月30日時点で、東部68名、西部129名、南部118名、北部90名、合計405名。第1号会員は400名、第2号会員は5名。

②各ブロック活動報告

(2)研修部：門岡研修部長、松本理事

①全体研修会感想（YouTube配信終了後）

会場参加 66 名、アンケート回収 56 名。オンデマンド視聴回数 106 回、アンケート 4 名。

## ②中堅研修会報告

7月19日（金）18：30からオンライン開催。当日参加 61 名、うち非会員 4 名、オンデマンド配信は 7 月 27 日から 8 月 31 日まで行い、53 回再生。

## ③新人研修会について

16 名の参加申し込みがあり、9 月 7 日（土）、10 月 12 日（土）、11 月 30 日（土）開催予定となっている。11 月のみ対面（武蔵浦和のコミュニティセンター会議室使用料は 560 円）。

## ④専門研修会について

研修部と自主的勉強会のメンバー、及び関心のある会員 12 名で実行委員会を立ち上げ、検討を開始した。来年 1、2 月の第 2 土曜の午後開催予定。講師は神戸学院大学 宮崎先生に依頼予定であり、内容は宮崎先生と協議中。

## ⑤その他

- ・学会の開催時期に関しては、従来通り通常総会と同日開催することを検討している。オンデマンド配信予定。

- ・全体研修会の講師選定が難しかったので、早めに動いていきたい。全会員ではないがオープンチャットでどんなテーマの講演を希望するか、アンケートを実施する。

## (3)社会活動部：近内社会活動部長

### ①社会活動部報告（資料；部会議事録）

8 月 5 日に部会開催。

### ②令和 6 年度事業計画（会員アンケート）について（資料；アンケート案）

- ・会員のニーズ把握、今後の活動計画に反映させるため、会員向けのアンケートを検討している。アンケートの雛形を作成中。あり方検討会にもアンケート項目を検討してもらい、適宜修正している。全会員の 50%以上の回答率を目指す。アンケート調査をもとに学会発表での報告を目標としている。アンケートの依頼方法も郵送代がかかるため、ブロックニュース発送時に同封する等検討しているところである。各ブロックとの連携が必要になってくる。郵送するとなると、各所属機関に 1 つではなく、会員 1 人 1 人に渡るように考えている。

- ・会員が回答しやすいよう、アンケート内容のブラッシュアップを行うとともに、回答することで得られるメリットなどを明確に示す必要がある。アンケートはQRコードを使った回答方式とし、回答期限を明確に設定する。

平野理事：他の部局とタイアップして郵送する方法でも良いのではないかと考える。

杉山会長：アンケートの内容については、社会活動部の活動に関する意識調査なのか、他に内容を広げていくのかどうか分からない。今回のアンケートを機会に他に内容を広げていくのであれば、理事会で中身を検討していく必要がある。また、今年開催予定だった県民講座・相談会の予算があると思うので、もし県民講座・相談会を行わないのであればその予算を郵送代に利用するという考え方もあるのではないかと考える。

#### (4) 財務部

##### ①財務状況報告：高瀬財務部長

7月2日時点、321名から納入されていることが報告された。未納者は北部14名・東部18名・西部34名・南部36名。11月には督促状を郵送する予定。埼玉りそな銀行200万、ゆうちょ銀行230万円の残高あり。

##### ②クレジットカードについて

クレジットカード受領済。現在カードは金庫にて保管している。今後の管理方法や運用方法については協議していく。

#### (5) 事務局

##### ①内閣府電子申請関連報告：竹野事務局長

電子申請手続き・定款改正の手続きも完了。今回は登記変更の必要はなかったため、文書課との協議は不要であり、疾病対策課のみの対応で可能であった。

杉山会長：今回は、手続きが簡素化され、柔軟な対応で済んでよかった。

##### ②今後の協会運営あり方検討委員会報告：竹野事務局長（資料参照）

- ・協会のガバナンスに関することとして、電子的保管体制（GoogleWorkSpace）を進めていく。パソコンやスキャナ、プリンター等の機器を購入済。GoogleWorkSpaceは容量がほぼ無制限であり、今後は過去の文書もスキャナ取り込みし保管していく。

- ・社会活動部のアンケート内容について協議。

・70周年記念事業（2026年）を行うのであれば、予算化や準備を進めていく必要がある。

杉山会長：今までは節目の年に記念誌の発行や永年勤続の表彰を行ったりしていた。

千賀理事：10周年は記念総会、20周年は記念誌、30周年は記念誌、40周年は記念大会、記念誌、50周年は記念大会、表彰、記念誌、60周年は記念大会、表彰（記念品）を行った。

→70周年記念事業については、継続審議とする。

③令和5年度事業実施報告書等の提出について（資料；令和5年度事業報告の根拠となる文書一覧修正版）：平野理事

個別に担当者に問い合わせを行い、昨年度の依頼文書や開催通知、資料等は概ね事務局に提出いただくことができた。

④備品購入について（資料；備品台帳）：平野理事

備品台帳に基づき、品目、個数、メーカー、保管場所を備品台帳で管理していきたい。

⑤物品管理規定案の策定について（資料；備品管理規定案）：平野理事

物品管理規定案の作成にあたっては、財務部長や並木氏には確認済。永井監事より、固定資産の取り扱いや減価償却対象の定義等について盛り込むのはどうかと意見あり。

高瀬理事：並木氏からは金額設定が妥当かどうかの確認があった。当協会に固定資産はなく、減価償却はICT関連機器が該当するのではないかと考える。

→継続審議とし、次回理事会で決議。

⑥令和7年度定時総会日程について

例年大宮ソニックシティを利用してきたが、半年前には抽選のために幹事が順番に並ぶなど、事前申請が大変だった。場所の確保が早めに必要。会場の選定にあたり、100名以上収容可能でWi-Fi環境の有無を確認する。大宮ソニックシティ、埼玉会館、民間の貸会議室、業者が提供するホテルの会議室などを候補とし、費用やアクセスなども考慮して決定していく。ハイブリットでの同時配信ではなく、録画をしてオンデマンド配信するという形をとるのはどうかも含めて検討する。

門岡研修部長：日本医療ソーシャルワーカー協会の全国大会では、学会はオンラインでは視聴できず、現地参加の方しか参加できなかった。

清水ICT部門責任者：会場とオンライン参加との得られる情報の違いがないと、なかなか会場参加は難しいのではないかと思います。

→来年6月上旬開催予定。

## ⑦ICT部門から：清水ICT部門責任者

- ・現在LINEWORKSの容量の4分の1使用。GoogleWorkSpaceを利用することによって、容量を節約する。理事会に必要な書類をGoogleWorkSpaceの「理事会に共有するフォルダ」に集約していく。GoogleWorkSpaceは現在研修部、事務局、社会活動部が運用中。事務局は年度ごとに分類。研修部はイベントごとに分類。社会活動部はこれからルール決め。GoogleWorkSpaceは実質無料。「理事会に共有するフォルダ」は、アカウントが付与されていなくても、リンクを共有された役員は閲覧できるようになっている。

- ・書類でないため災害にも強い。バックアップはGoogle側が考えることであり、Googleはアメリカの会社なのでアメリカのサーバーにバックアップをとっていると思われる。

- ・現在のホームページはスマホ仕様ではない。清水ICT部門責任者が作成する予定だが、URLが変更になる可能性がある。

- ・10月から郵便物が値上げ予定。経費を理由に会員に向けて発信できないのはもったいないので、他の方法を模索していきたい。

杉山会長：オープンチャットの登録者数がなかなか増えていない（現在95名）。

平野理事：会員には、オープンチャットを登録しないと不利益があるという認識に切り替えてもらう。オープンチャットの登録を任意ではなく、原則登録してもらうようにする。

長岡理事：院内ではサイボーズ利用を段階的に条件化していき、利用するよう促して行った。

門岡研修部長：新人研修の際はオープンチャットの案内をする予定。今後全体研修会等の案内の際に、「詳細はオープンチャット」とオープンチャットに促す仕組みも考えている。

## 8 その他

### 9 次回理事会の開催について

- ・次回理事会は令和6年11月5日(火)14：00から開催する。

- ・各部局で緊急を要する事態が発生した場合は、必要に応じてメール審議または緊急オンライン理事会を開催することとした。

以上を以て議案等の審議を終了し、16：42議長より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。

令和6年 月 日

議事録署名人（代表理事）

議事録署名人（監事）